

## 事業者向け

## 放課後等デイサービス自己評価表

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	改善目標、工夫している点など
環境・ 体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	4	2		<ul style="list-style-type: none"> <li>・環境についてはスタッフ間で、危険はないかを話し、改善できる所は改善に努めている。</li> <li>・施設内だけでなく、庭や公園で活動する等の工夫をしており、施設でのスペースは充実している。</li> <li>・スペースの不足は公園などを利用して行っている。</li> <li>・玄関には、段差があるが、室内はバリアフリーとなっている</li> </ul>
	2	職員の配置数は適切であるか	5	1		
	3	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされているか	2	4		
業務改善	4	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか	5	1		<ul style="list-style-type: none"> <li>・研修で学んだことは、他のスタッフと共有し学びにしている。</li> <li>・月に数回行われるミーティングだけでなく、普段からスタッフ間で朝礼を行うことで、業務の改善を行っている。</li> <li>・研修では、新人スタッフの研修だけでなく、個人情報や様々な事柄についての研修を行い、人間的にも成長できる機会を設けている。</li> <li>・パートを交えての研修会があるとよい。</li> </ul>
	5	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	6	0		
	6	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	4	1		
	7	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか	1	4		
	8	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	5	1		
適切な 支援の 提供	9	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか	6	0		<ul style="list-style-type: none"> <li>・振り返りや出来事をスタッフ間で共有して支援に繋げて、いっています。</li> <li>・支援開始の打合せは必ず行っている。前日の振り返りや支援の共有会議の機会を設けている。</li> <li>・その日に何を行うのかという話し合いをすると共にイベントについても画一的なものにならないようにスタッフで意見を出し合い、新しいイベントを取り入れている。</li> <li>・休日営業の際でも、朝礼を行うようになったことで、注意点や課題についても話し合うことができている。</li> </ul>
	10	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	2	2	1	
	11	活動プログラムの立案をチームで行っているか	5	1	0	
	12	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	6	0	0	
	13	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援しているか	6	0	0	
	14	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成しているか	6	0	0	
	15	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	6	0	0	
	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	5	1	0	
17	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	6	0	0		

	18	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか	6	0	0	
	19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ合わせて支援を行っているか	3	2	0	
関係機関や保護者との連携	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	6	0	0	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学校からの申し送りや連絡はスタッフと共有して、全員が周知ができるように心がけています。</li> <li>・学校間との連携については、密にできている学校もあれば、課題のある学校もある。支援の標準化プロジェクトを立ち上げ、その中で、「地域連携チーム」という連携を主としたチームも生まれた。現在チーム内で学校との連携を強固にする活動を考案している。来年度はより密に連携がとれるようにしていく。</li> <li>・保育所、幼稚園からの情報はもっと必要だと思う。</li> </ul>
	21	学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っているか	4	2	0	
	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えているか	3	3	0	
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか	4	1	1	
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか	3	1	2	
	25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	3	3	0	
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか	2	2	2	
	27	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加しているか	0	6	0	
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	6	0	0	
	29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っているか	0	2	3	
保護者への説明責任等	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	5	1	0	<ul style="list-style-type: none"> <li>・保護者へは、活動の様子、伝達事項は必ずお伝えしています。</li> <li>・契約時は保護者面談等で、管理者や児発管が必要な説明をおこなっている。</li> <li>・父母の会についてはコロナウイルス感染拡大の影響でなくなったが、徐々に感染が落ち着いた時に「ステキフェスティバル」を開催し、地域の方にも参加できるイベントを行った。今後は父母の会を行うことや「ステキバリエーション」をアピールできるイベントを行い、より地域に根付いた活動をおこなっていく。</li> </ul>
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	6	0	0	
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか	0	3	3	

	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	6	0	0	<p>・マニュアルだけでなく、フローチャートを用意し、緊急時の対応ができるようにしている。また、「安心・安全委員会」を設けて、その委員会を中心にフローチャートに沿った行動がとれるように、ロールプレイを行った。</p>
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	4	2	0	
	35	個人情報に十分注意しているか	6	0	0	
	36	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	6	0	0	
	37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか	6	0	0	
非常時等の対応	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか	6	0	0	<p>・訓練は、定期的に行っていて、避難経路の確認や非常時の対応を把握、再確認しています。          ・もっと研修を増やすとよい。          ・アレルギー対応は保護者からの申告に伴いおこなっている。</p>
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	6	0	0	
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	6	0	0	
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか	5	1	0	
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	5	1	0	
	43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	6	0	0	